

令和7年6月1日

作成：風早北部地域ふるさと協議会

防犯防災部

第1回防災活動に関する意見交換会・議事録

- ◆ 開催日時：令和7年5月31日(土) 午前10時00分～午前11時40分
- ◆ 会 場：沼南庁舎5階 501会議室
- ◆ 出席団体：五條谷区・新舟戸町会・井堀内町会③・大木戸町会・追花町会②・中郷町会・中の橋町会・緑台町会②・沼南エリカマンション③・大島田区・塚崎区・塚崎二丁目自会・塚崎三丁目自治会・大津ヶ丘一丁目町会・大津ヶ丘二丁目町会・大津ヶ丘三丁目町会・大津ヶ丘四丁目町会②・大津ヶ丘第五住宅管理組合・グランシティ大津ヶ丘団地管理組合・リバティーヒル柏自治会・手賀の杜自治会②・大津ヶ丘中学校・大津ヶ丘第一小学校・大津ヶ丘第二小学校 以上24団体／32名…○数字は2名以上参加者数

オブザーバー参加：柏市防災安全課・柏市沼南近隣センター、計2名

本会議欠席の団体：箕輪区・大井区(長)・柏東パークホームズ管理組合・舟戸町会・サンパワー区管理組合・大津ヶ丘第一住宅管理組合・同第三住宅管理組合・同第四住宅管理組合・プロナード大津ヶ丘団地管理組合・塚崎パークビラ自治会・風早中学校・風早北部小学校、以上12団体（←欠席団体には、本会議配付資料等を後日個別に提供）

議事録（案）：

1. 配付資料の確認と防犯防災部長冒頭あいさつ…本会議終了時配付物参照
2. 会議出席者自己紹介
 - 柏市からの出席者、各学校からの出席者の紹介
 - 各団体からの出席者読み上げで紹介
3. 協議内容
 - (1)当地域の現状・課題・対応策など（議題1）
 - ① 地域内の指定された住民避難場所屋内スペースが圧倒的に不足している現状にある。配付資料A3横長一覧表にて、当会が柏市の直近人口統計から算出した大規模災害発生時の避難住民数の推計値と各避難所の収容力を比

較し、二松学舎大学柏キャンパス以外は総じて不足している現状を指摘した。

本課題につき柏市からは各学校避難所の住民受け入れ場所の拡充が今年度以降予定されている。概ね災害時に想定されている避難者数に見合ったスペース確保は、机上で完了しているが、避難所によってはそれでも不足する場所もあり得る。

当地域住民団体としては「マイカー避難＋マイテント避難の推進」を訴えているが、市は、エコノミークラス症候群発症問題や車両渋滞で緊急車両の通行を妨げる恐れありとして、本意見には否定的姿勢である。

- ② 総合病院が本地域に所在していないことで、災害時にこうした医療機関に招集がかかる医師・看護師が最悪この地域からいなくなる。手賀大橋が緊急車両優先通行によって我孫子市側総合病院にも向かえないため、怪我をした際、平時には助かる命が、災害時にはそうでなくなる状況に陥る。

本件につき柏市は、「災害時の緊急医療施設設置を優先的に検討」しており、その候補場所が沼南体育館となる予定であることは定まった模様ながら、施設以外の大きなハードルとして、医師や看護師の配置、医療機器の運搬、薬剤の十分な確保といった点で課題もあり、簡単に解決するものではないというのが当会の見解。→地域住民としては、大規模災害時に怪我をしない取り組みとして具体的施策（←当会から柏市には具体的要望内容を提示済み、シェイクアウト訓練の本格実施もその一つ）に力を傾注すべきであり、上記の緊急医療施設実現の協議と並行して、市民が怪我をしない本テーマを前に進めることが大切と市には継続して訴えている。

- ③ 柏市の膨大な「地域防災計画」を真に実効ある内容として検証することを含め、市民に防災意識を高めてもらうためには、市内広範囲での防災訓練を実施する以外に方策はないものと考え、数年前から市にその実現を要望している。市としても、より多くの市民参加型訓練の必要性は認識しているものの、現時点ではこの課題解決の具体案の成立には至っていない。

(2) 今年度の当会防犯防災部事業活動の案内（議題２）

配付資料の各項目内容に沿って、今年一年間の当部の主な活動日程を解説し、各団体からの出席（参加）を促した。原則として毎月の第四または最終土曜日に会議を開催（但し 12 月及び来年 3 月は実施予定なし）し、当面は秋以降の防災訓練の実施を目指す。

具体的な訓練内容は、シェイクアウト訓練、安否確認訓練、安否確認結果のトランシーバーを使った柏市との間の通報訓練、避難所移動と避難所での初動訓練の実施につき、概要を解説（詳細は次回会議にて改めて案内の予定）。

今期の防災活動（＝防災訓練）での重点取り組み事項（議題2補足）

- ✓ 柏市地区災害対策本部員（市職員）と共同での避難所訓練の実施
- ✓ 災害時の避難所運営等の戦力として中学校や高等学校に通うお子さんを訓練運営側に取り込む

【会場発言】当地域で実際に大きな災害を経験したことや、その記録は残っていないか。

【当会回答】今から 60 年前に大雨で手賀沼周辺が大規模場水害となったことは記憶しているが、それ以降では大きな自然災害は東日本大震災以外記憶がない。一昨年大雨で手賀沼周回道路が水没し、半日ほど通行できなかったが、市民に実被害はなかった。

(3) 柏市沼南近隣センター（風早北部地区災害対策本部設置場所）での今年度の防災体制や活動予定につき説明があった。詳細は配付資料を参照。（議題3）この中で、今年度の本部員の指名は未了（6 月中には指名される。それまでは旧本部員が任につく）。

近隣センターが今年 9 月から旧保健センターに開設予定であるが、それまでは暫定的に、当庁舎の郷土資料館側スペースや、本庁舎 5 階会議室が避難場所として開放される。

【会場発言】この地域の排水管や下水管が溢れるような心配はないか。

【市・当会回答】当方の知る限りではそうした危険箇所の存在は聞こえていない。柏市が公表するハザードマップでの確認が可能※。昨年、柏市が市民向けに供用を開始した「管路内水位観測システム」によると、当地域内にその観測計設置箇所が現時点で無いことから、市全体の中では相対的に危険箇所が少ないとの理解でいる。

※柏市の水害ハザードマップはこちらから閲覧可能です。👉

左が洪水版（危機管理部所管）、右が内水版（上下水道局所管）



【会場発言】埼玉県八潮市で起きた道路陥没事故のような恐れがありそうな市内の関連情報をうかがうことはできないか。

【市回答】八潮市の事故以降、関連の質疑が柏市議会でも取りあげられたと記憶している。先ずはそちらを一度参照されてはどうか（当会から柏市市民活動支援課に依頼し、いつの市議会で行き上げられたかの調査を依頼中👉巻末の「補足」を参照）。

(4) 当会からの防災講習（議題4）

- 過日放映されたタモリステーション「南海トラフ大地震」につき抜粋版を上映した。その後有用な防災アプリをいくつか紹介した（アプリ詳細は次回の本会議にて改めてご案内予定）。【進行は小林副部長】
- 女性防災サークル「風北ジョイナス」から、防災キャンプの結果並びに、発災時に大切なトイレ使用につき解説し、今期の各避難所での避難訓練では、希望する団体に30～40分の防災講習として「トイレ」問題を取り上げることをご案内した。防災講習会実施の要望は、次回の本会議以降で承る。【進行は石河副部長】

(5) その他

- ✓ 第2回防災活動に関する意見交換会は来る6月28日(土)午前10時から開催予定で、**次回より防災訓練実施に向けた、各避難所別の実践的協議を予定いたします**ので、奮って皆様のご出席をお願いします。
- ✓ 無線機(トランシーバー)を当会から貸出中の団体の皆さまに、機材の実利用者登録の更新(別途個別に配付した紙面を使って見え消し修正)し当会に返送願います。また各団体所有のトランシーバーの無線局登録状につき、登録期限が満了を今年度迎えないかにつき確認を改めて依頼した。
- ✓ 当会発信防犯・防災ニュースの住民向け教宣の方法を配付資料に沿って案内した(増刷希望は暫時承りますので、今後遠慮なくお申し出ください)。

以 上

補足（柏市からの追加情報：下水管等の老朽化に関する市の検討状況や市議会での議論の記録）…以下のサイトからの閲覧が可能です。

直近の「令和7年第1回定例会（3月議会）」にて取り上げられており、下記の議会だより「P3の阿比留議員の内容」が一般向けによくまとまっています。

https://www.city.kashiwa.lg.jp/documents/42372/gikaidayori249gou1-8_1.pdf

また、より詳細については下水道工務課の発表にて確認できるかと思います。

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/gesuikomu/kanri/kinkyutenken2.html>

<https://www.city.kashiwa.lg.jp/gesuikomu/kanri/kinnkyuutennkenn.html>